

2016年度（2017年3月期） 通期 決算説明会

2017年 4月 28日

セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

- 2016年度 通期決算
 - 2017年度 通期業績予想
 - 中期経営計画の進捗
-
- 2016年度 第4四半期決算詳細
 - 2017年度 主要経営指標
 - 株主還元

- 2016年度 通期決算
- 2017年度 通期業績予想
- 中期経営計画の進捗

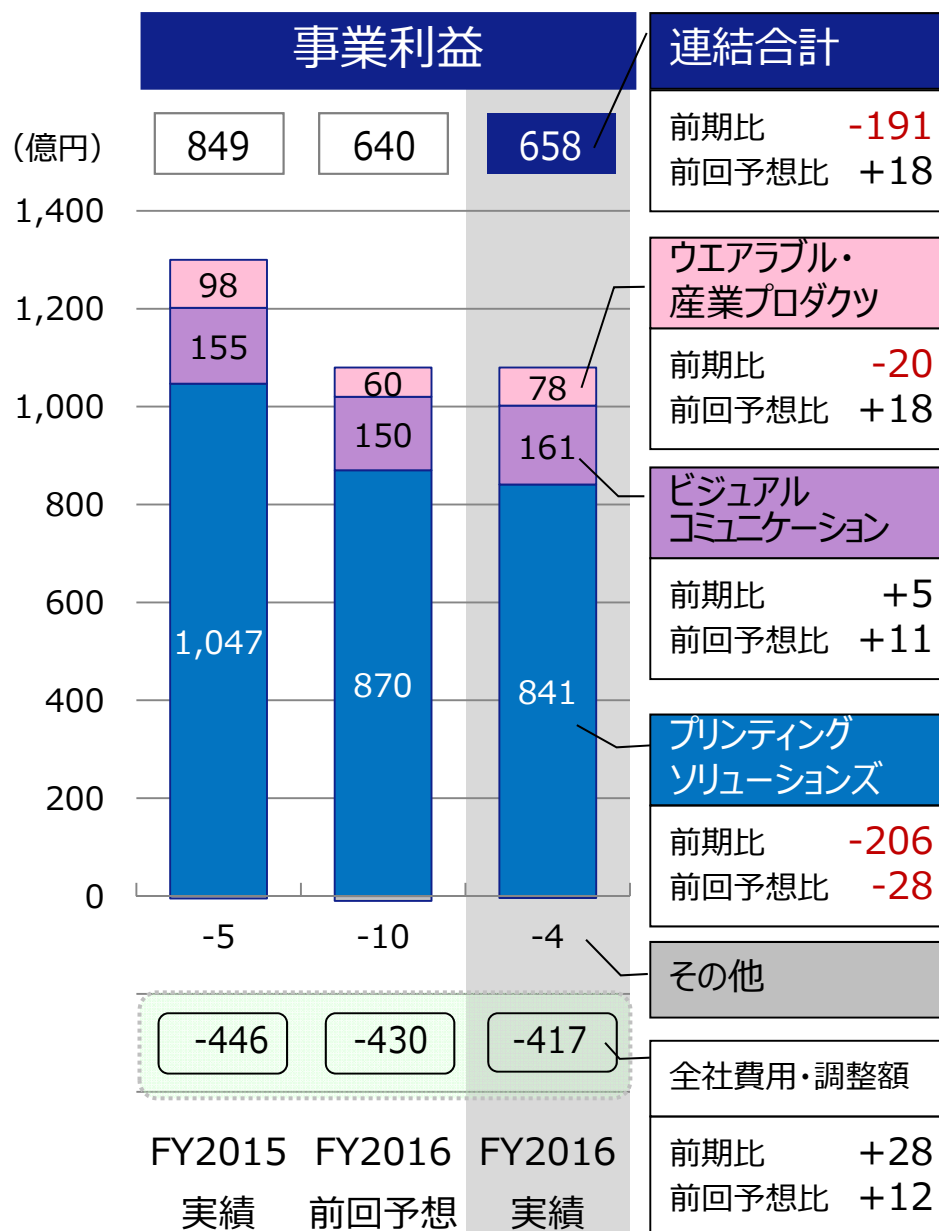
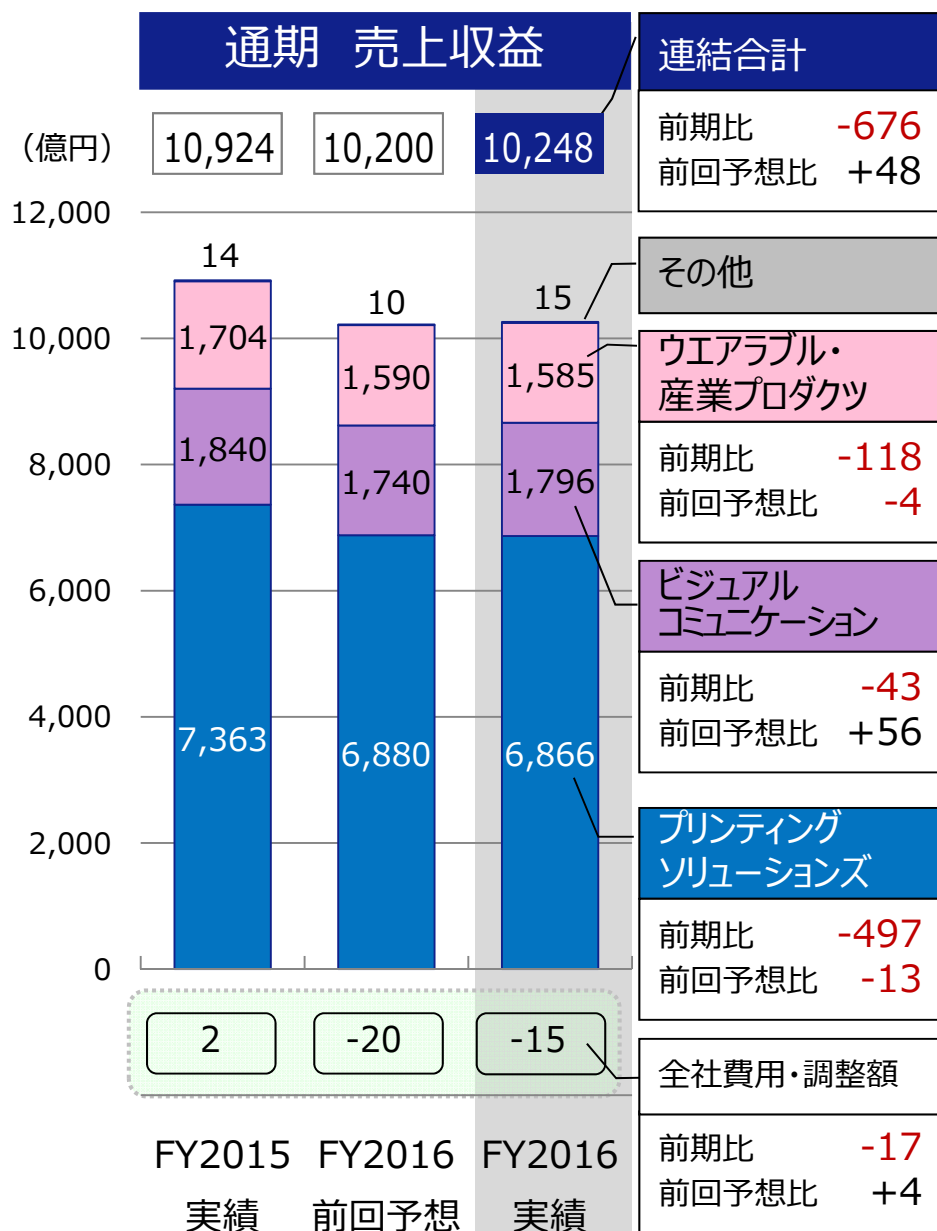
- 2016年度 第4四半期決算詳細
- 2017年度 主要経営指標
- 株主還元

2016年度 決算ハイライト

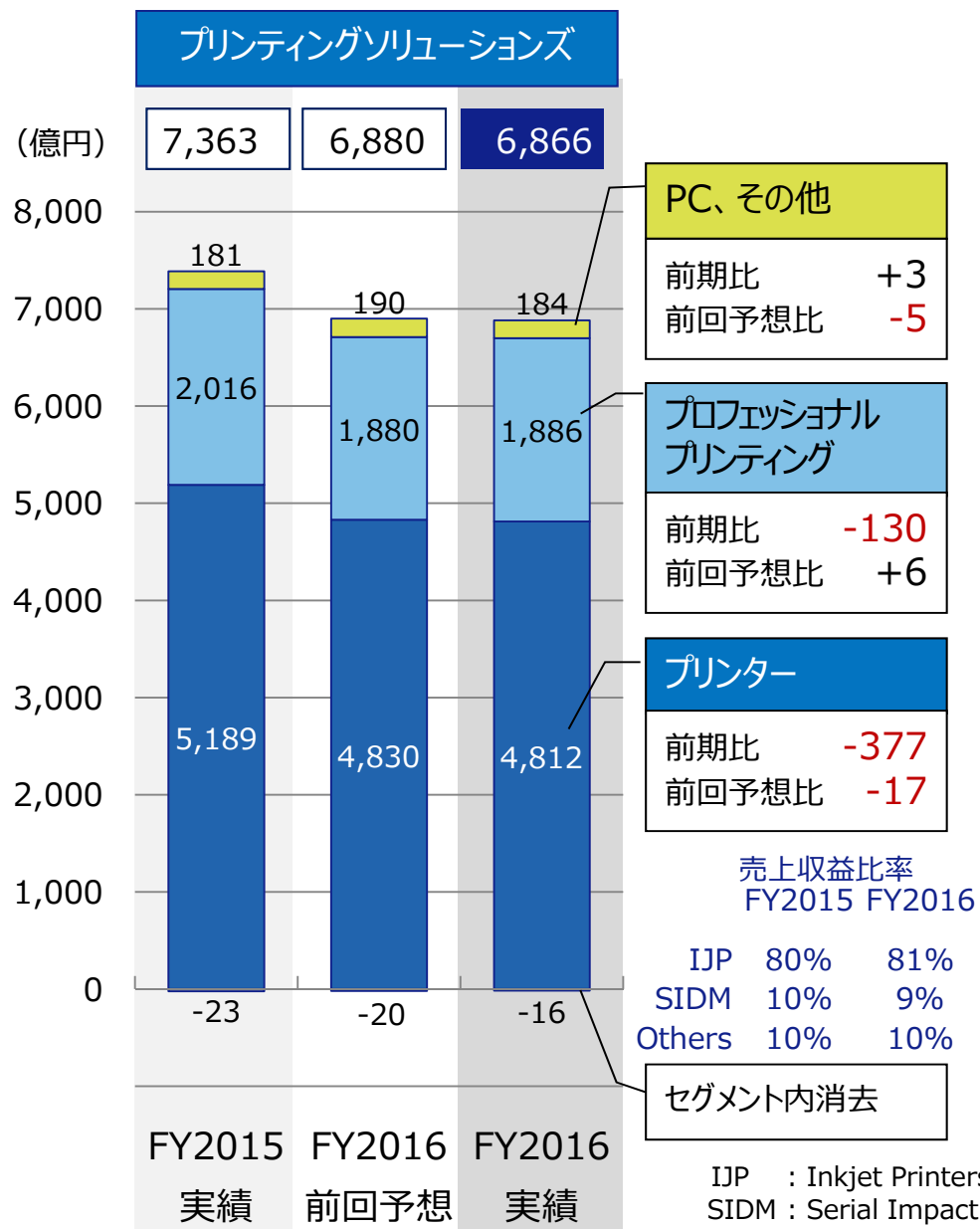
(億円)	2015年度		2016年度				前期 実績比	1/31 予想比	
	実績	%	1/31予想	%	実績	%			
売上収益	10,924	-	10,200	-	10,248	-	-676 -6.2%	+48 +0.5%	
事業利益	849	7.8%	640	6.3%	658	6.4%	-191 -22.5%	+18 +2.8%	
営業利益	940	8.6%	640	6.3%	678	6.6%	-261 -27.8%	+38 +6.1%	
税引前利益	915	8.4%	630	6.2%	674	6.6%	-240 -26.3%	+44 +7.1%	
当期利益	460	4.2%	480	4.7%	484	4.7%	+23 +5.1%	+4 +0.9%	
EPS*	127.94 円		136.28 円		136.82 円		為替影響額 (億円)	売上収益	事業利益
換算レート	USD	120.14 円	107.00 円		108.38 円		USD	△346	+62
							EUR	△193	△136
	EUR	132.58 円	117.00 円		118.79 円		その他通貨	△422	△163
						合計	△962	△237	

* 基本的1株当たり当期利益

2016年度 実績 ▶ 事業セグメント別



2016年度 実績 ▶ 事業別売上収益

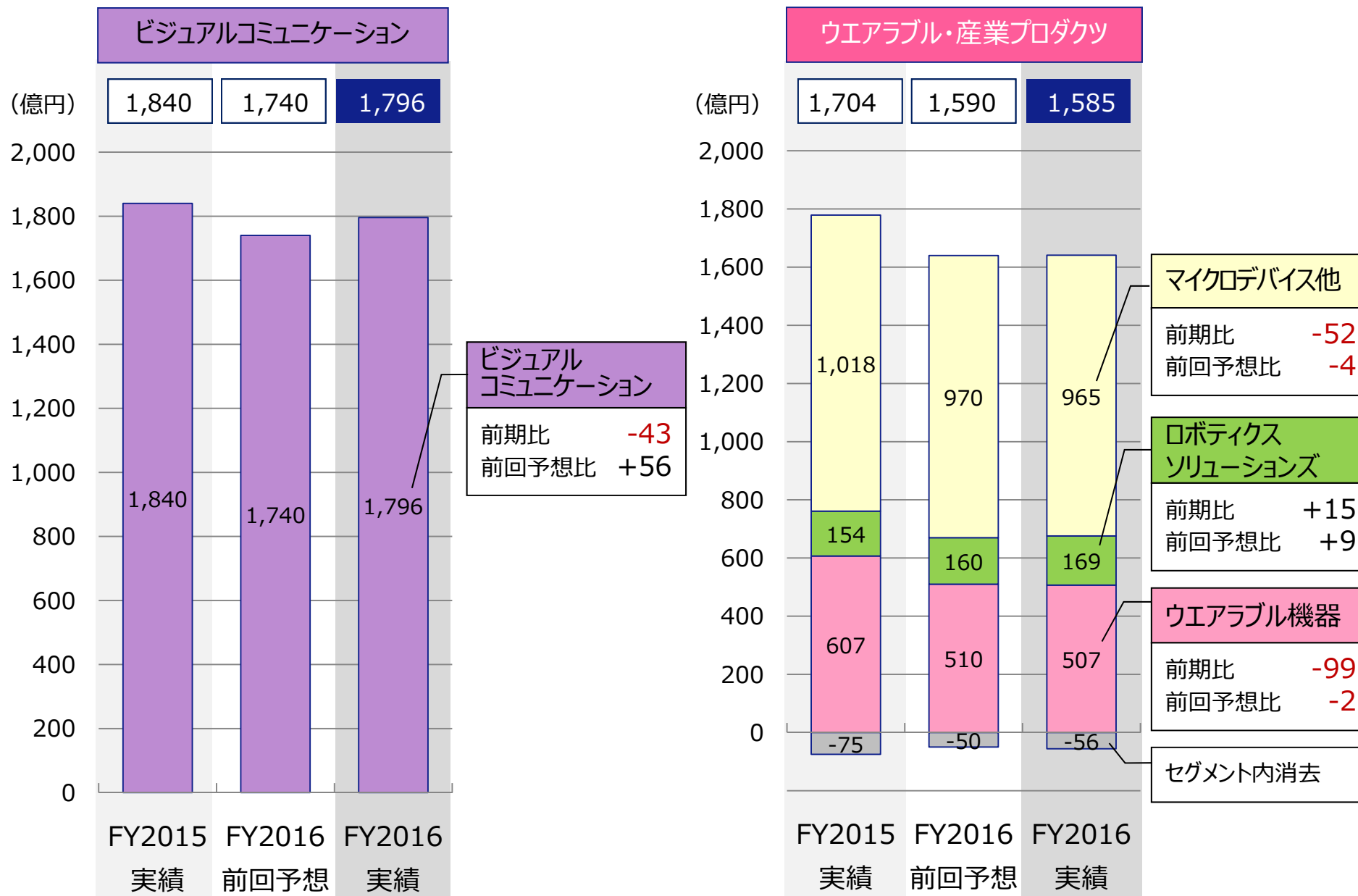


フォト・グラフィックス向け大判インクジェットプリンター
: SC-P20050



大容量インクタンク搭載プリンター
: EW-M770T

2016年度 実績 ▶ 事業別売上収益

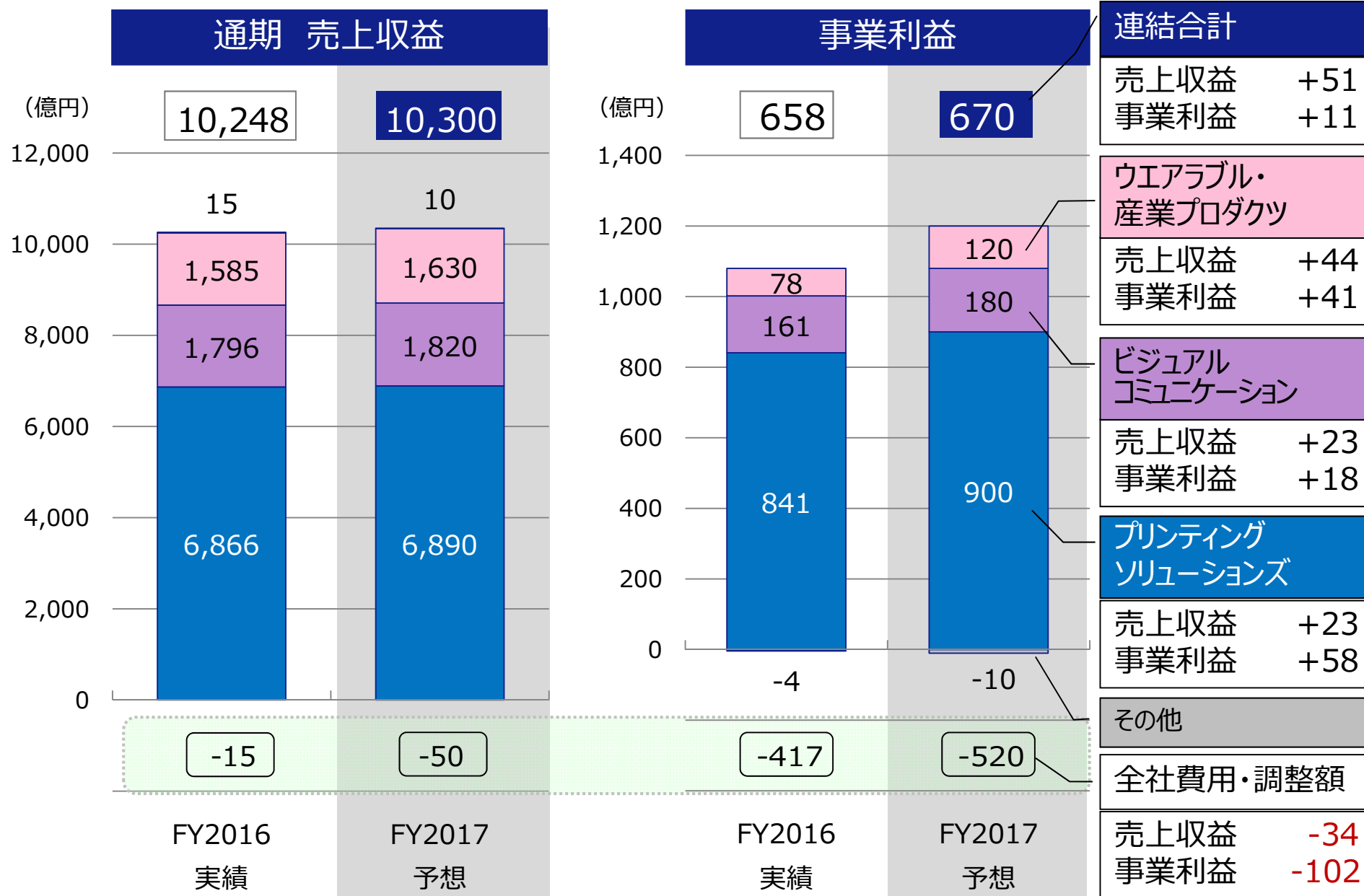


2017年度 業績予想

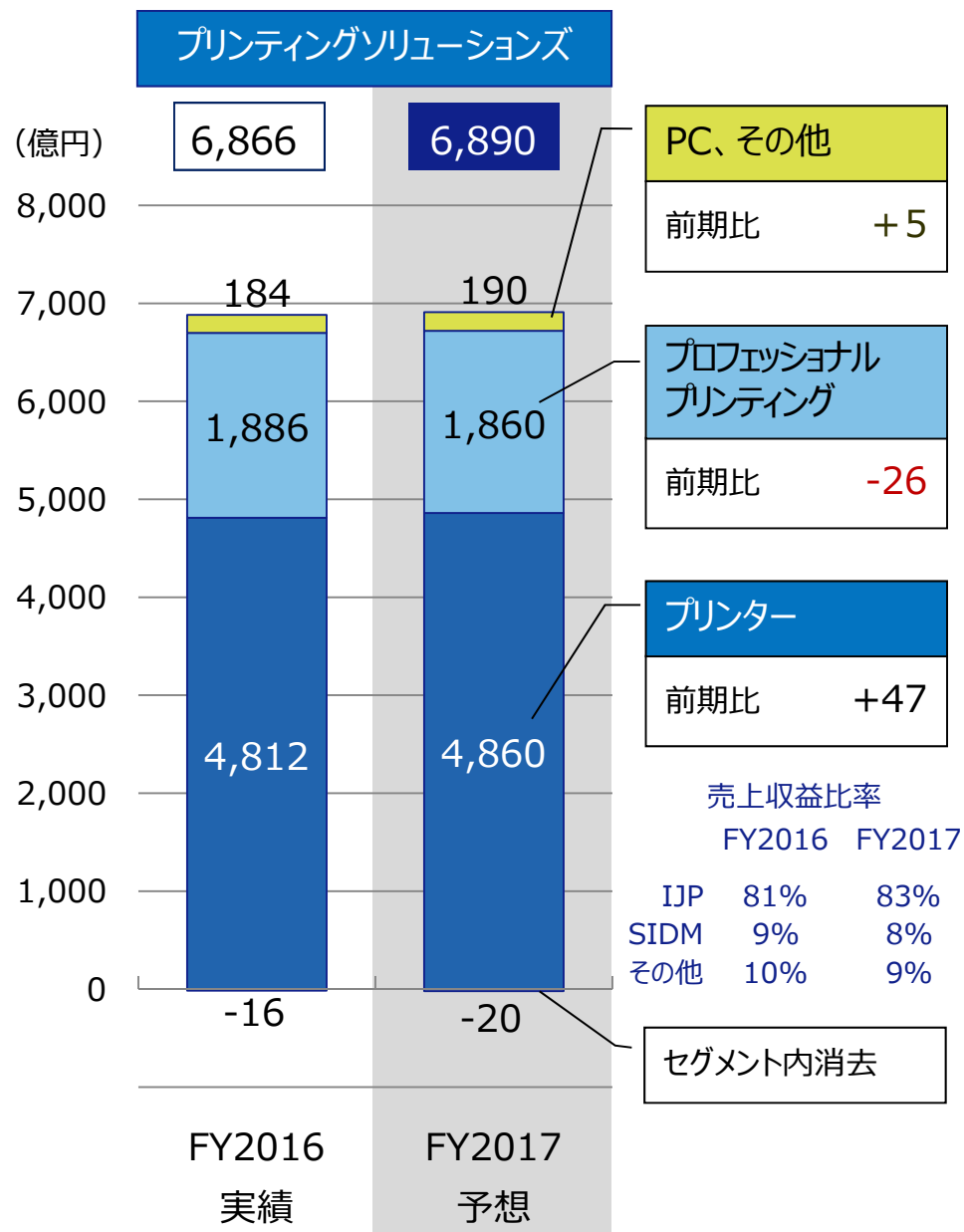
(億円)	2016年度		2017年度			
	通期実績	%	通期予想	%	増減額	増減率
売上収益	10,248	-	10,300	-	+51	+0.5%
事業利益	658	6.4%	670	6.5%	+11	+1.8%
営業利益	678	6.6%	640	6.2%	-38	-5.7%
税引前利益	674	6.6%	640	6.2%	-34	-5.1%
当期利益	484	4.7%	490	4.8%	+5	+1.2%
EPS*	136.82 円		139.12 円	為替感応度(年間)	売上収益	事業利益
				1円の円高影響額(億円)		
換算 レート	USD	108.38 円	105.00 円	USD	△30	+4
				EUR	△15	△10
	EUR	118.79 円	110.00 円	1%の円高影響額(億円)		
				その他通貨合計	△28	△11

* 基本的1株当たり当期利益

2017年度 業績予想 ▶ 事業セグメント別



2017年度 業績予想 ▶ 事業別売上収益

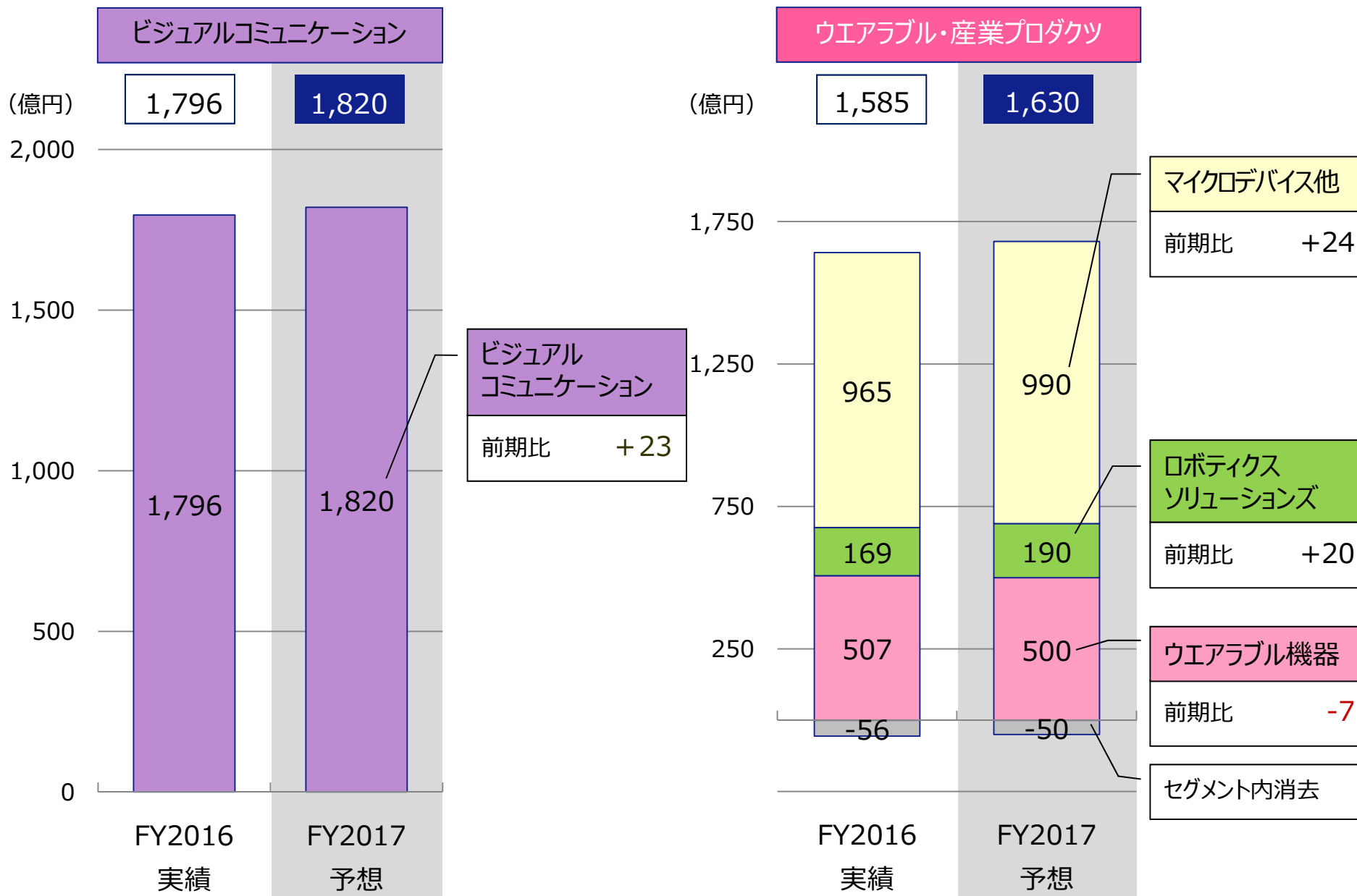


サインージ向け大判プリンター
: SC-S80650



高速ラインインクジェット複合機/プリンター
: LX-10000F (オプション装着時)

2017年度 業績予想 ▶ 事業別売上収益



■ Epson 25 第1期中期経営計画 に沿って確実に前進

● 2016年度 初年度として着実な成果

- ✓ 戦略商品の拡大継続
- ✓ 新規分野の開拓進展
- ✓ 将来成長を担う
戦略商品の開発が進展
- ✓ 事業基盤の強化

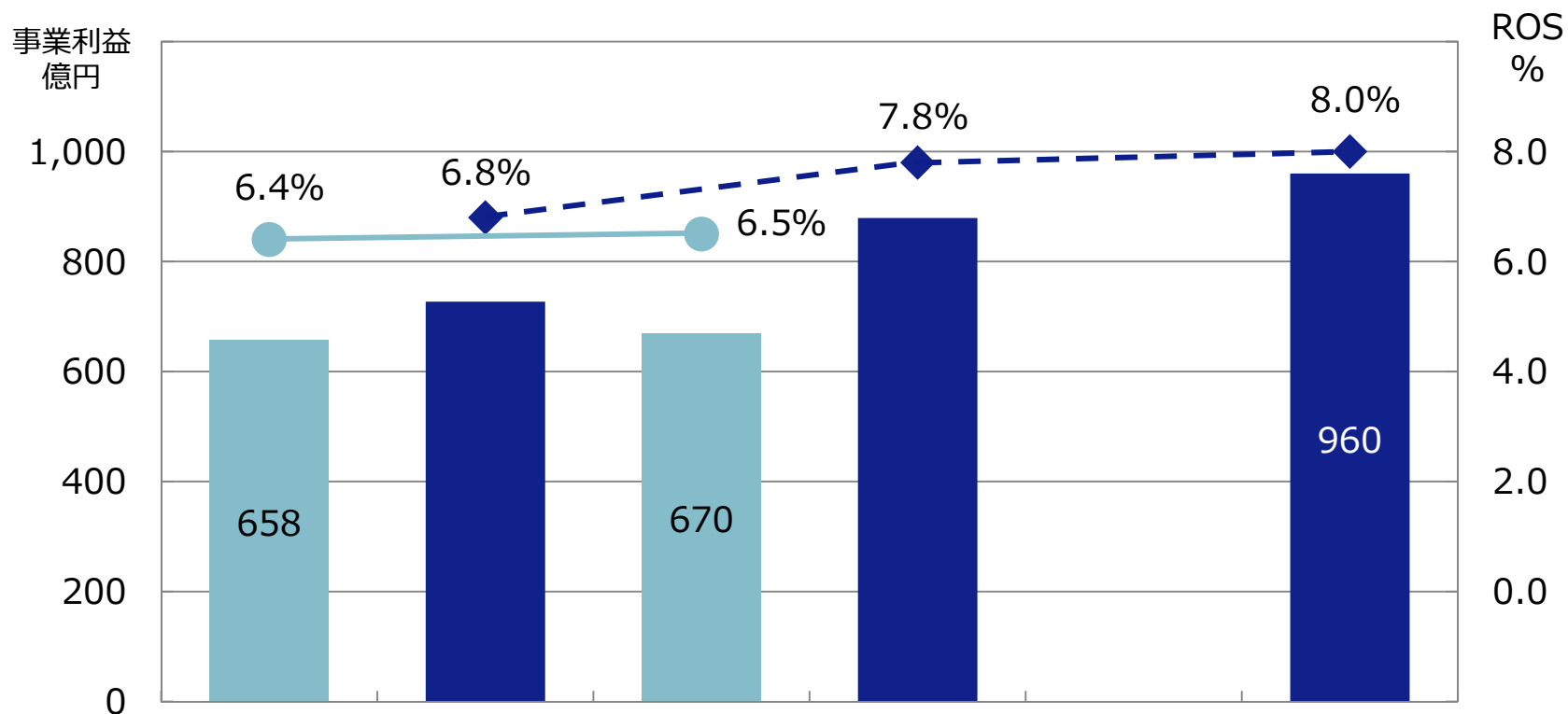


オフィス製紙機「PaperLab A-8000」

- 2017年度 戦略を進展させ、ビジョン実現に向けた
成長基盤を創り上げる

中期経営計画の進捗<事業利益推移>

■ 戦略進展に伴い、収益性は着実に向上

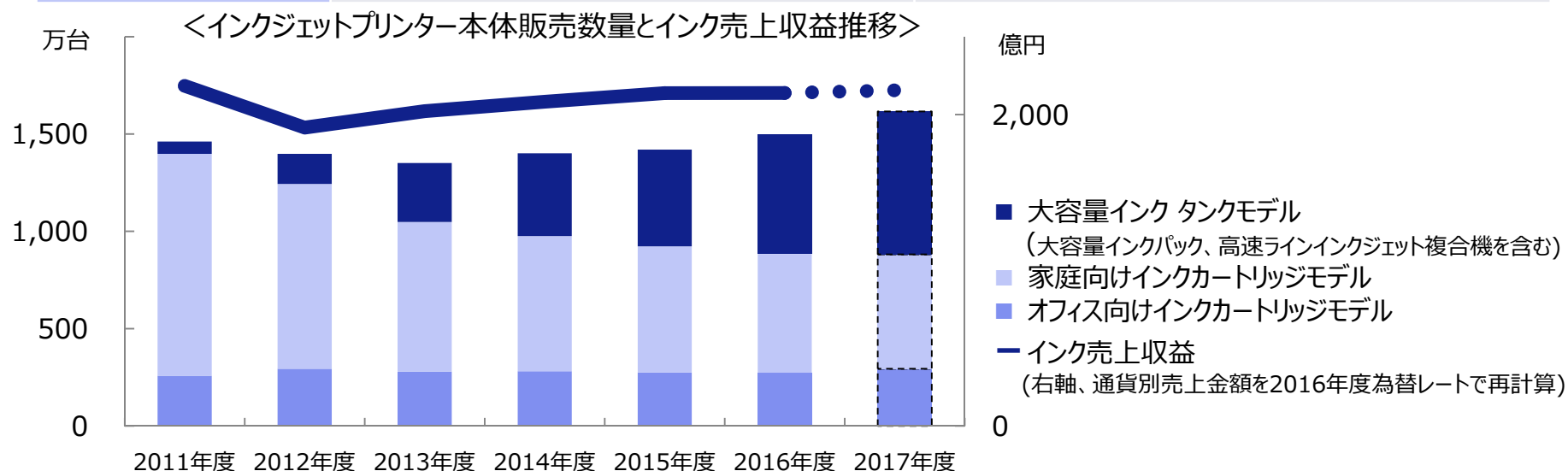


年度	2016年度		2017年度		2018年度	
	実績	※再計算	予想	※再計算		中期経営計画
USD	¥108.38	¥115	¥105	¥115		¥115
EUR	¥118.79	¥125	¥110	¥125		¥125

※再計算：中期経営計画前提レートで再計算した事業利益額・事業利益率

各事業の取り組み

	2016年度	2017年度
プリンター	大容量インクタンクモデル ・順調に拡大	・市場活性化 ・新商品投入による拡大継続
	高プリントボリュームユーザー獲得により、インク売上収益は安定継続	
	高速ラインインクジェット複合機 ・開発完了	・日本・海外での着実な販売 -販売体制整備 -オフィスにおける認知度向上
	オフィス製紙機「PaperLab」 ・販売開始	・需要に応える体制整備



	2016年度	2017年度
プロフェッショナル プリンティング	<p>新規分野（サイネージ・テキスタイル・ラベル）での販売が拡大</p> <p>ロブステリ社（伊）完全子会社化 テキスタイル研究開発施設の整備</p>	<p>インクジェットの高性能を生かし、商業・産業印刷のデジタル化を支える商品投入による新規分野の販売拡大</p>
ビジュアル コミュニケーション	<p>レーザー光源搭載高光束プロジェクター投入</p> <p>3LCDの魅力訴求により 市場シェアはさらに伸長</p>	<p>高光束、超/短焦点分野の強化 豊富なラインアップと3LCDの高性能を生かした販売拡大</p>



捺染印刷機 : Monna Lisa



レーザー光源搭載高光束プロジェクター
: EB-L2500U

各事業の取り組み

	2016年度	2017年度
ウェアラブル機器	事業基盤の整備 ・オ rient 時計の機能再編	ウオッチの基盤に先端技術を組み合わせ、個性豊かな商品を創出
ロボティクスソリューションズ	特長あるロボット・力覚センサーなどの投入による販売拡大	ソリューション提案力の強化とラインアップの充実により、需要拡大を捉え、着実に成長
マイクロデバイス他	安定した需要をベースに着実な販売につなげるとともに、完成品ビジネスのコアとなるデバイス・技術の開発を継続強化	



GPSランニングギア WristableGPS
: SF-850PS



小型6軸ロボット
: Nシリーズ



小型原子発振器
: AO6860LAN

新分野拡大に向けた事業基盤の強化

	2016年度	2017年度
研究開発	高速ラインインクジェット複合機、 オフィス製紙機「PaperLab」、 レーザー光源搭載高光束プロジェ クター など	ビジョンを実現するコア技術と 新商品の創出
生産体制	成長を支える新工場の建設・稼働と既存工場の合理化・自動化	
	新工場稼働開始（インドネシア・ 秋田エプソン） ヘッド新工場建設開始（広丘）	新工場稼働開始（フィリピン）
販売体制	オフィス分野の販売・技術サポート人員の継続的増強 新分野における認知度向上のための取り組み	



インドネシアエプソン新工場



秋田エプソン新工場



広丘事業所新工場（完成予想図）
（2018年度稼働予定）

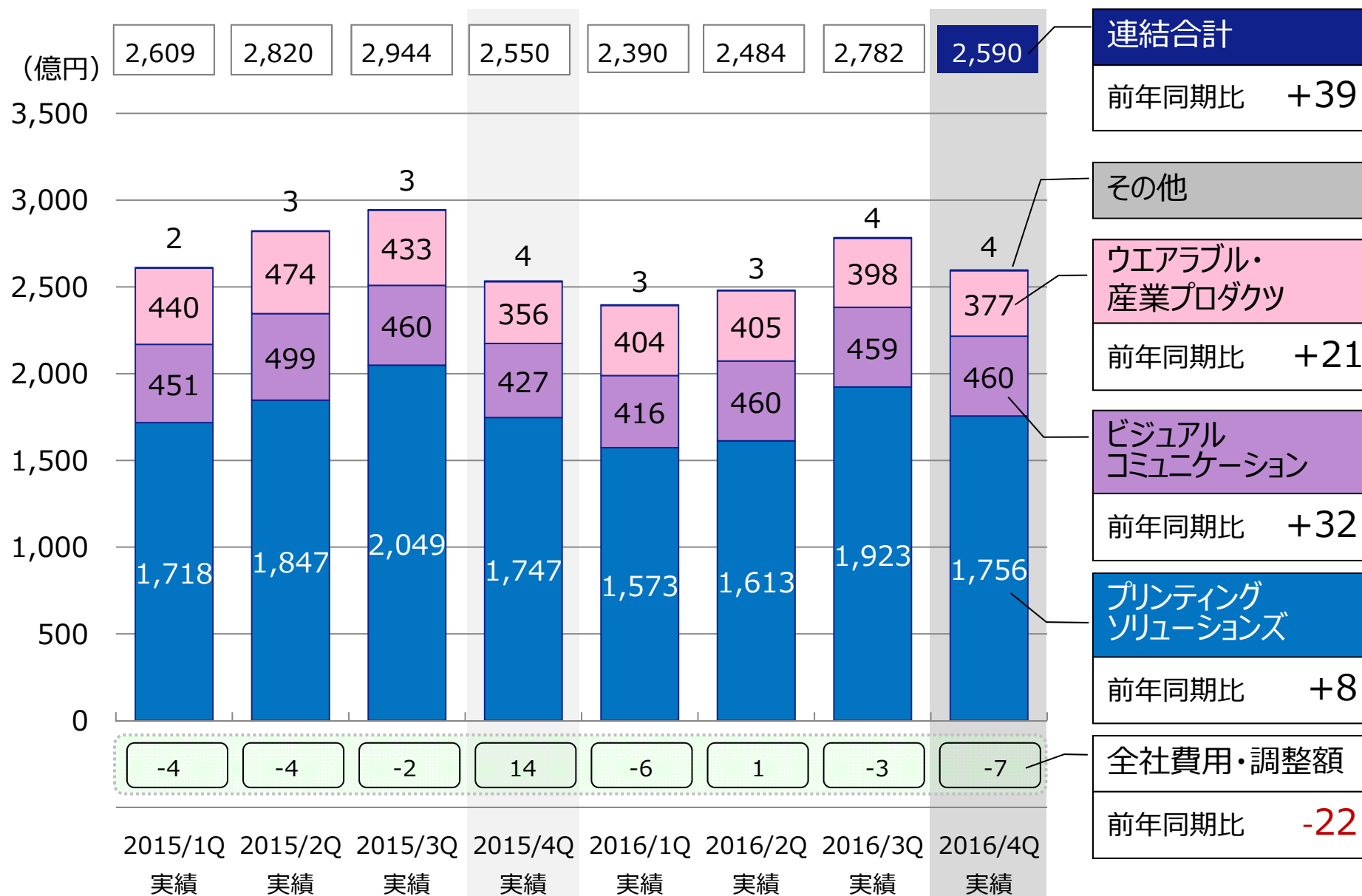
- 2016年度 通期決算
 - 2017年度 通期業績予想
 - 中期経営計画の進捗
-
- 2016年度 第4四半期決算詳細
 - 2017年度 主要経営指標
 - 株主還元

決算ハイライト（第4四半期）

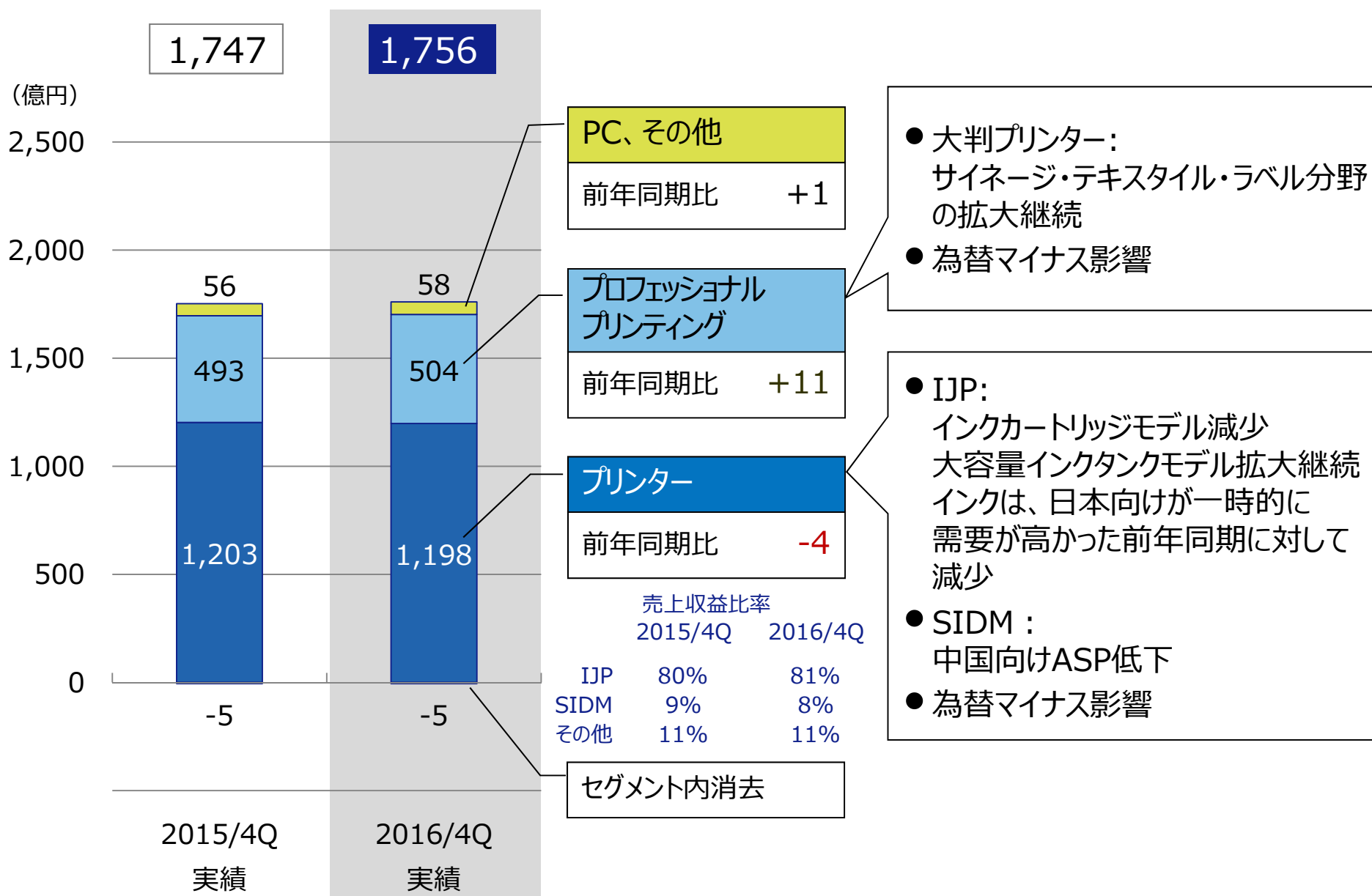
(億円)	2015年度		2016年度		前年同期比	
	4Q実績	%	4Q実績	%	増減額	増減率
売上収益	2,550	-	2,590	-	+39	+1.6%
事業利益	121	4.8%	117	4.5%	-4	-3.7%
営業利益	121	4.8%	105	4.1%	-15	-12.5%
税引前四半期利益	112	4.4%	100	3.9%	-11	-10.1%
四半期利益	-91	-3.6%	13	0.5%	+105	-
EPS*	-25.70 円		3.79 円			
換算 レート	USD	115.48 円	113.64 円	為替影響額 (億円)	売上収益	事業利益
				USD	△13	+2
	EUR	127.22 円	121.08 円	EUR	△22	△15
				その他通貨	△9	+7
			合計	△44	△6	

* 基本的1株当たり四半期利益

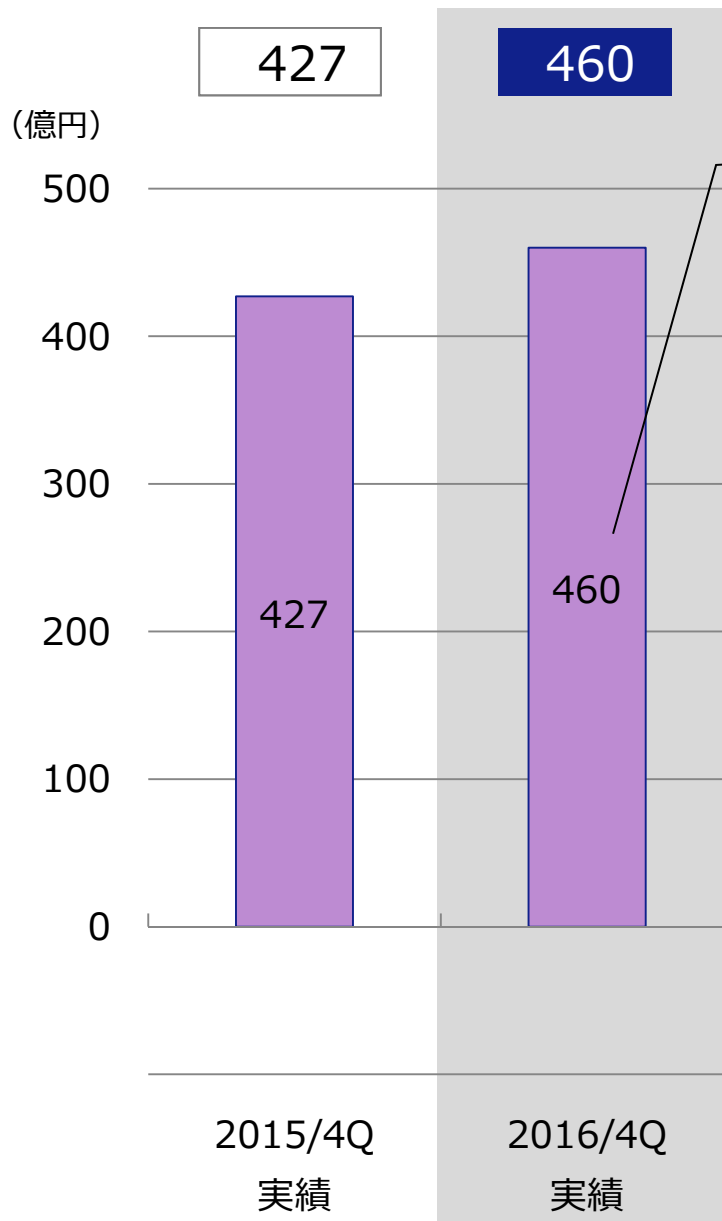
四半期売上収益推移 ▶ 事業セグメント別



四半期売上収益比較 ▶ プリンティングソリューションズ



四半期売上収益比較 ▶ ビジュアルコミュニケーション

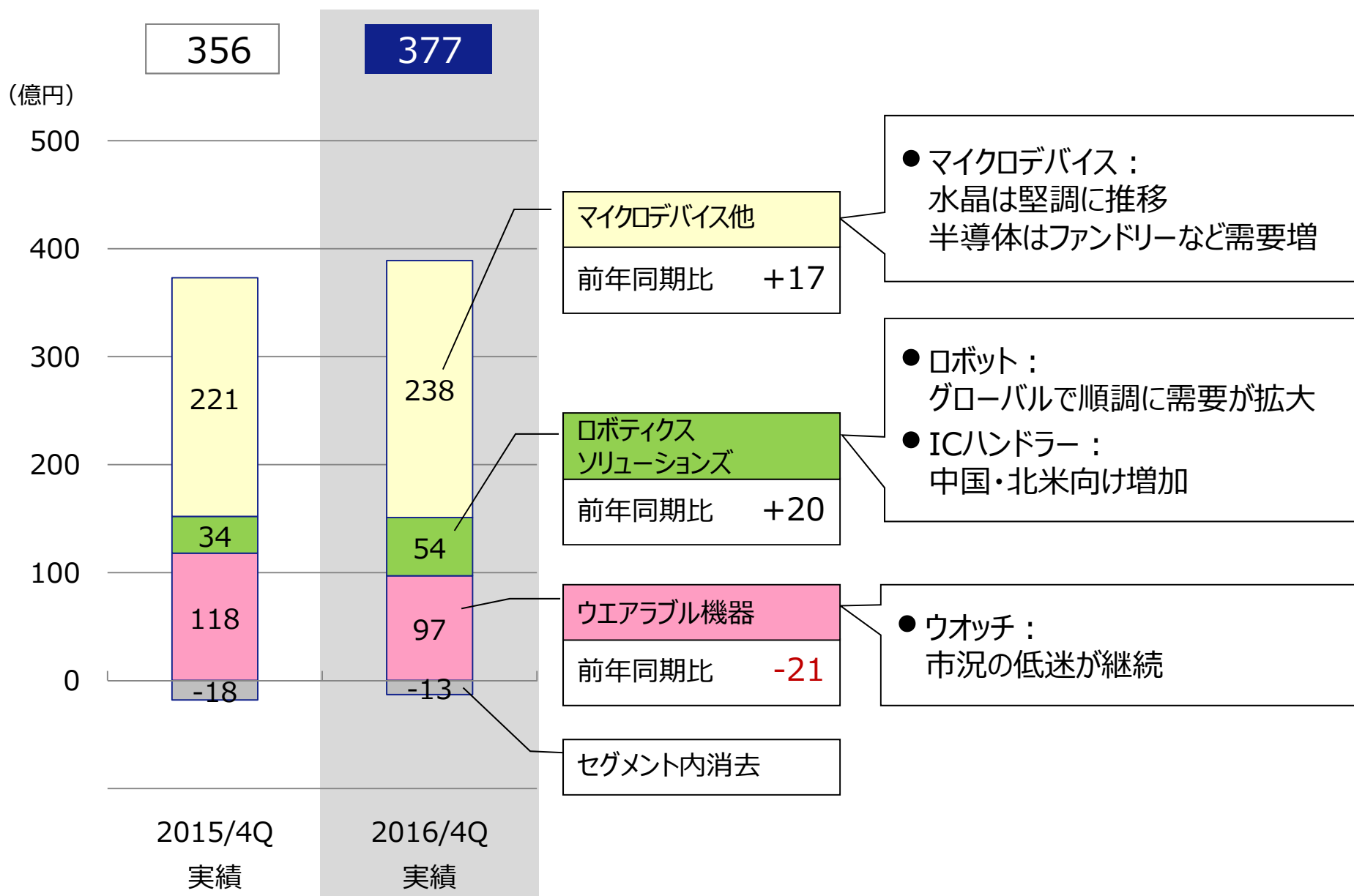


ビジュアル
コミュニケーション
前年同期比 +32

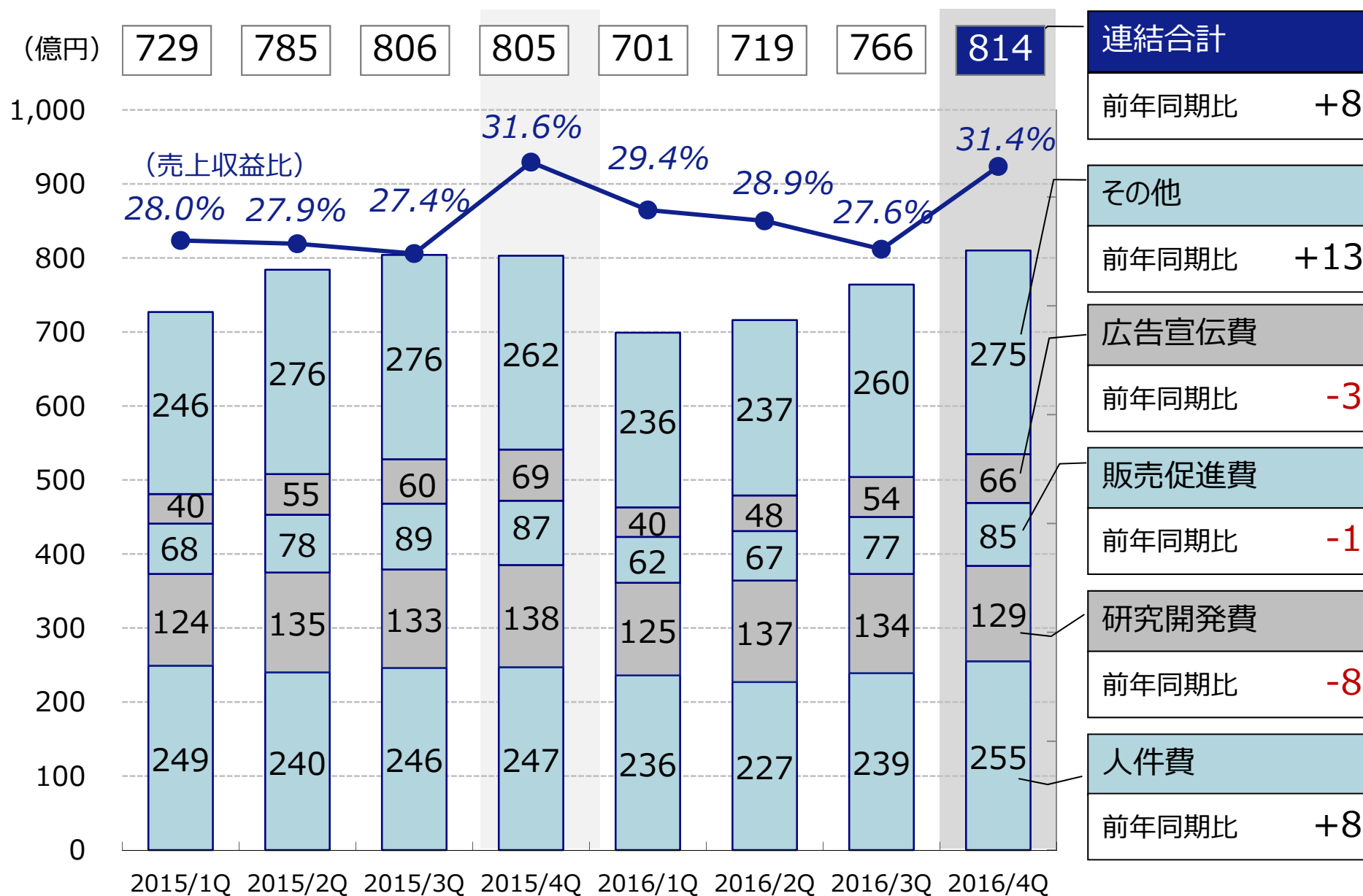
- プロジェクター：
アジア向けを中心に増加
高光束分野が大幅増
- 為替マイナス影響



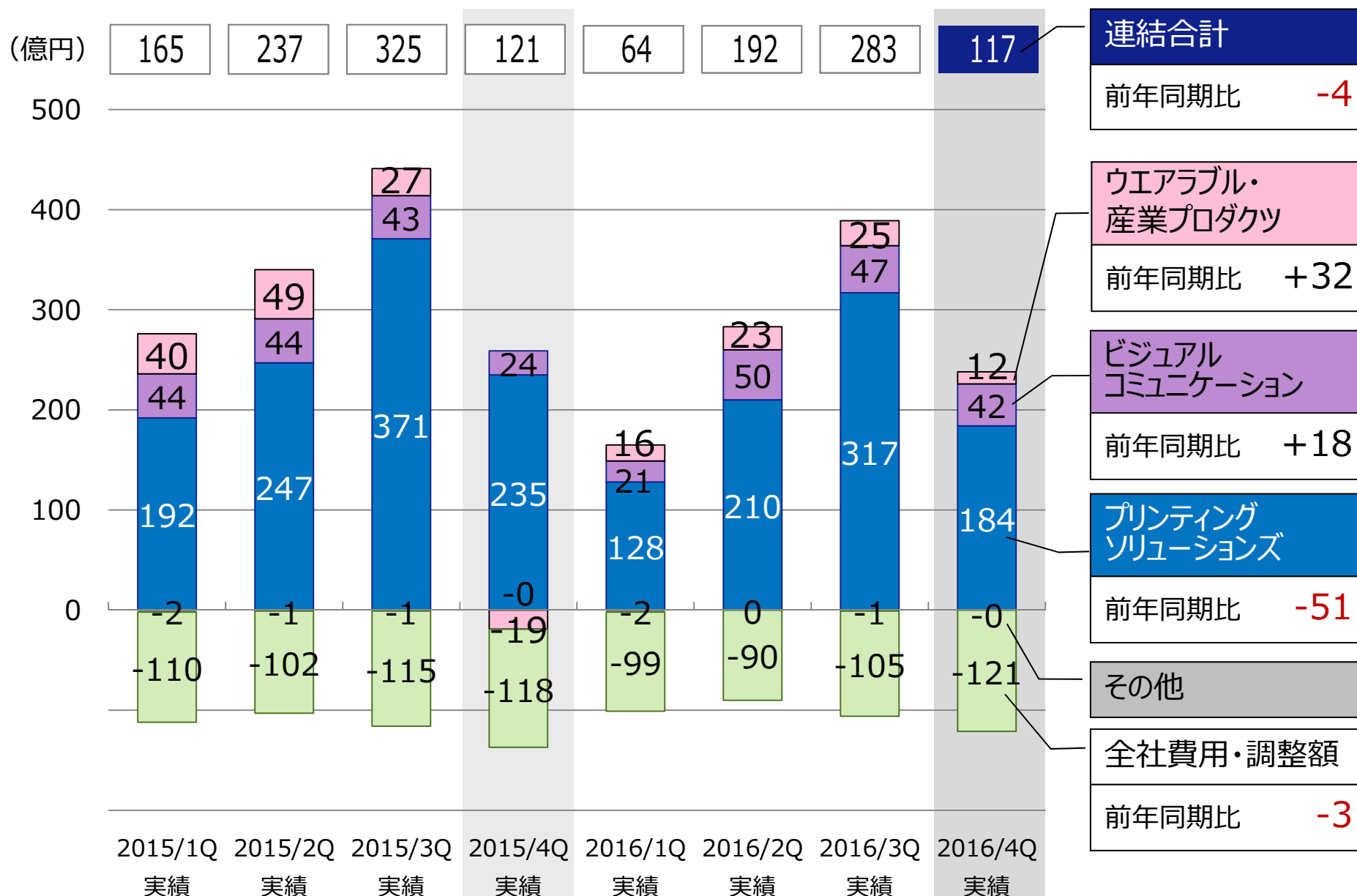
四半期売上収益比較 ▶ ウェアラブル・産業プロダクツ



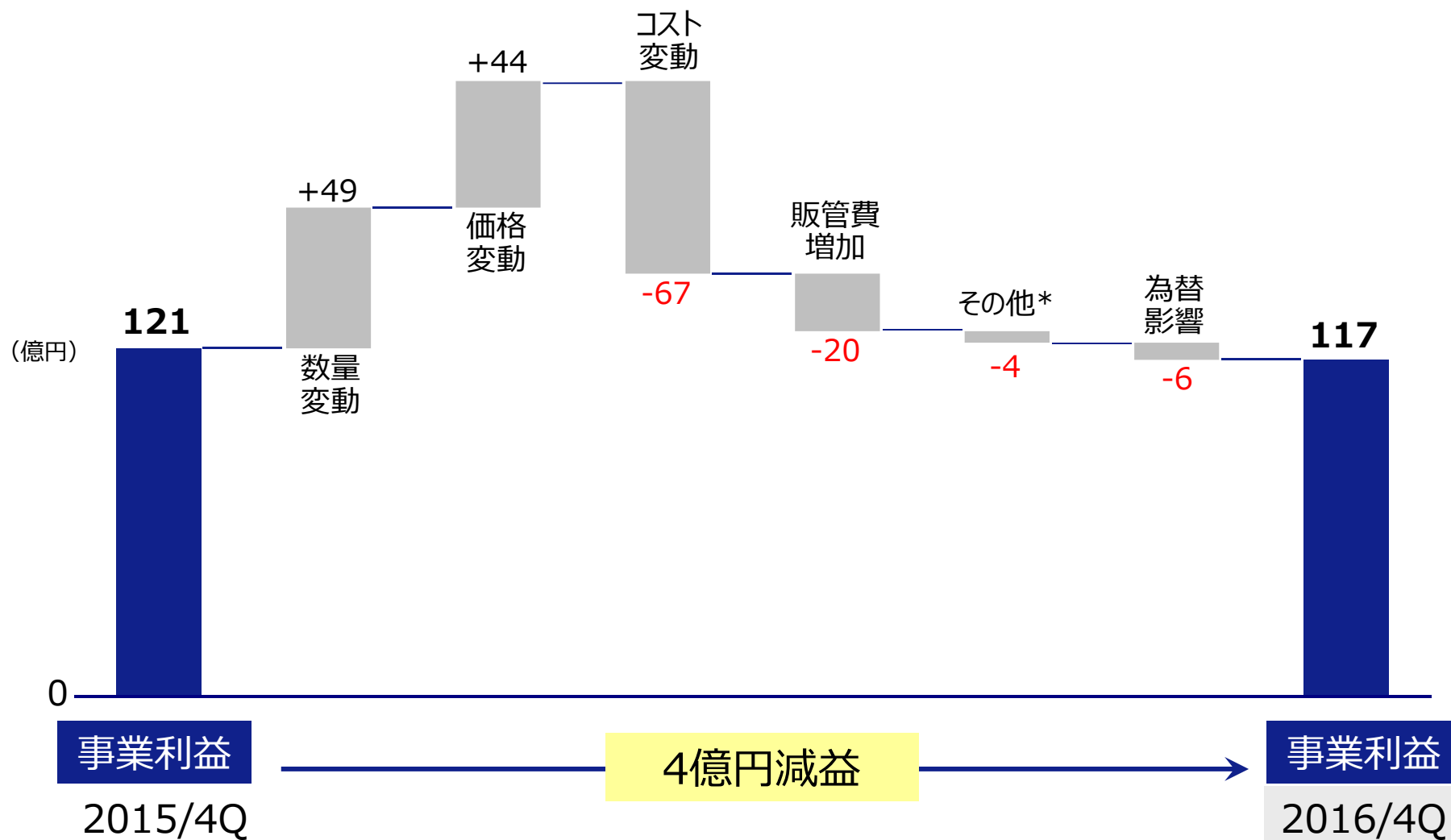
四半期販売費及び一般管理費推移



四半期事業利益推移 ▶ 事業セグメント別

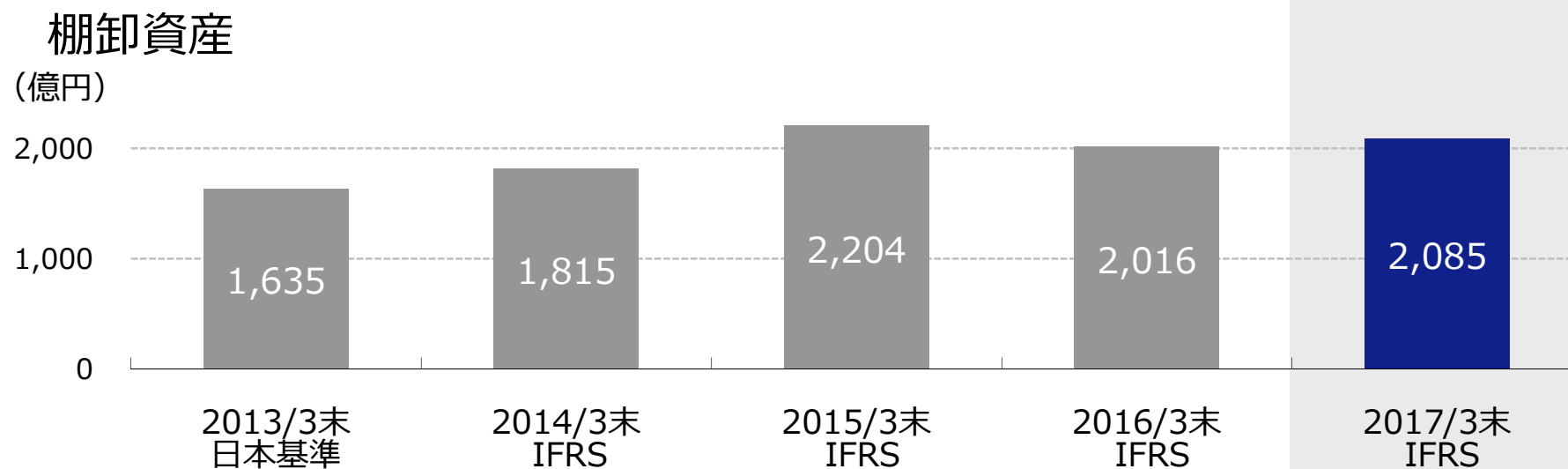
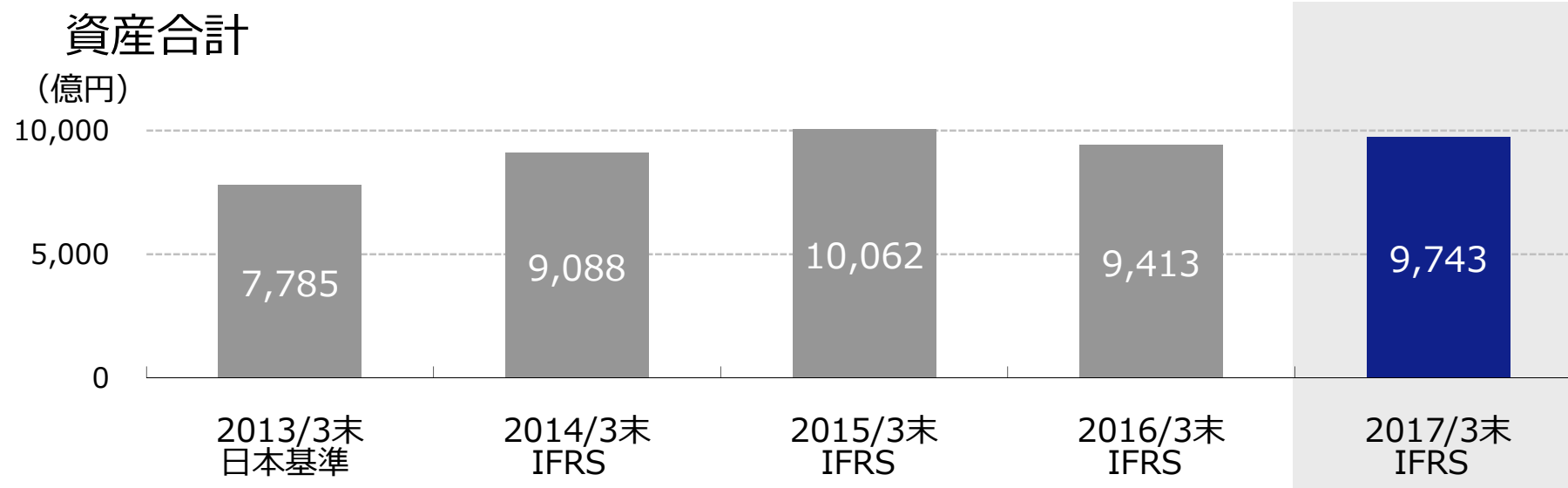


第4四半期 事業利益増減要因分析

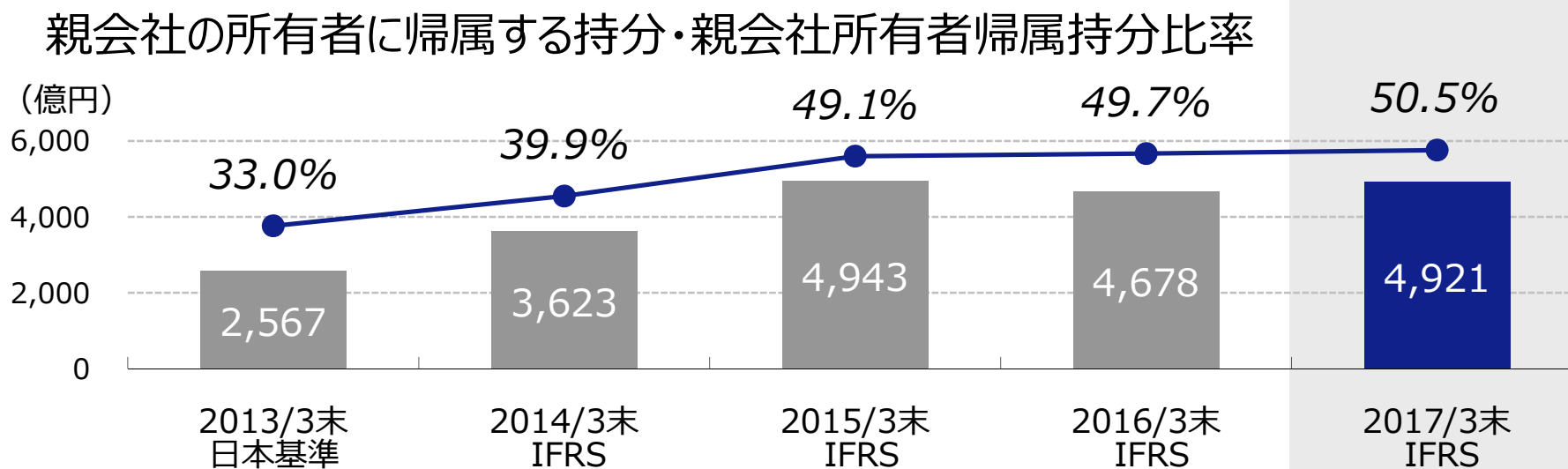
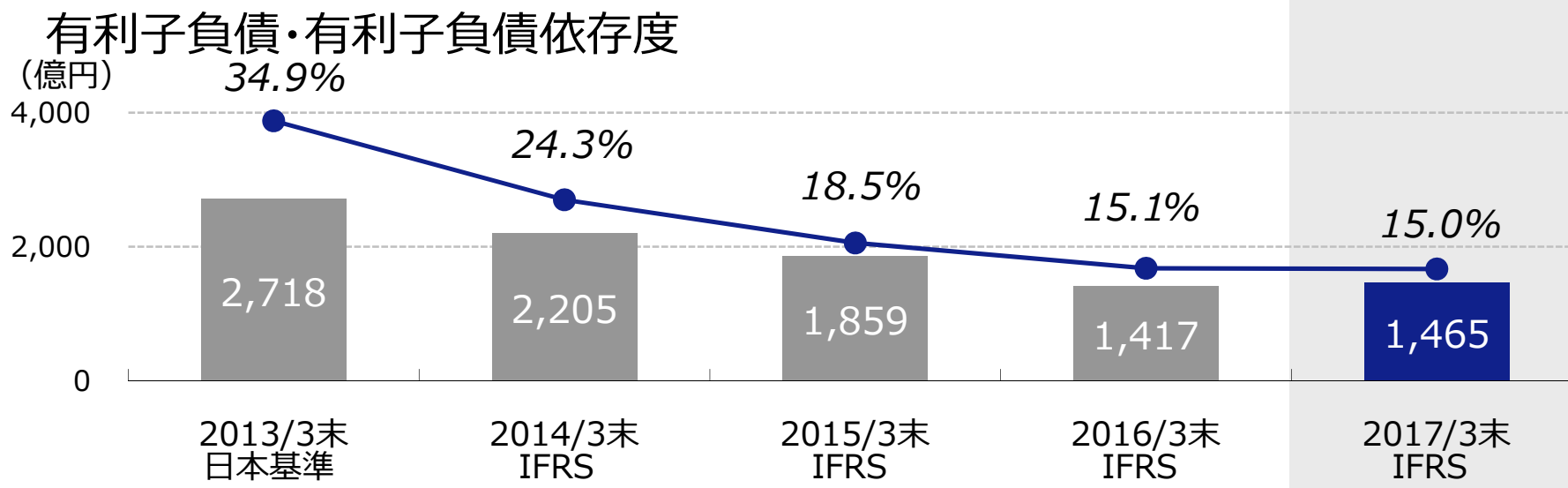


* : 全社費用セグメント及び各セグメントにおいて類似商品同士の比較に適さない商品・事業の増減の総計

財政状態計算書主要項目推移

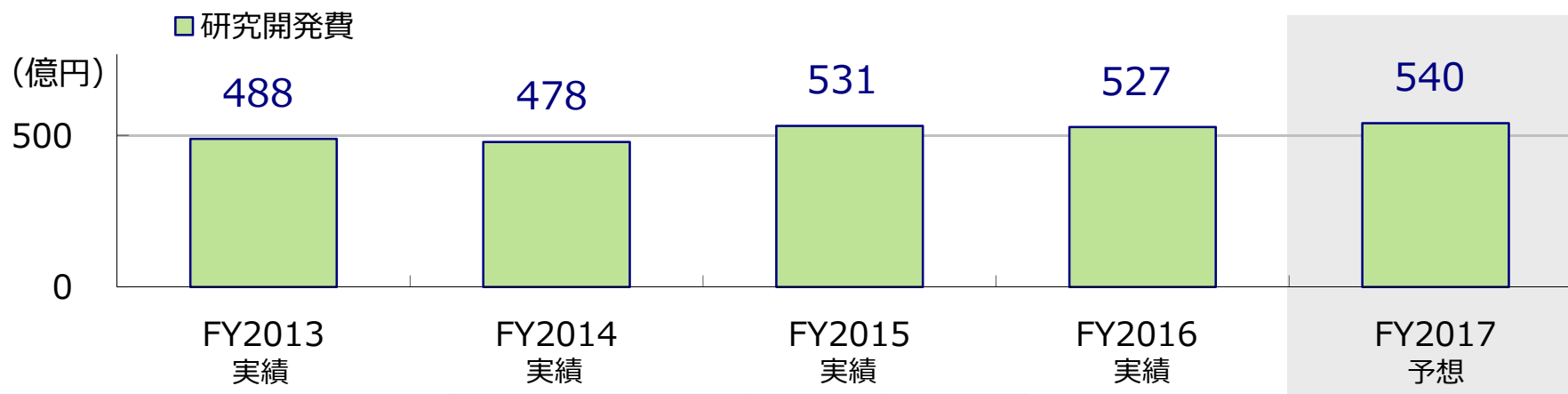


財政状態計算書主要項目推移

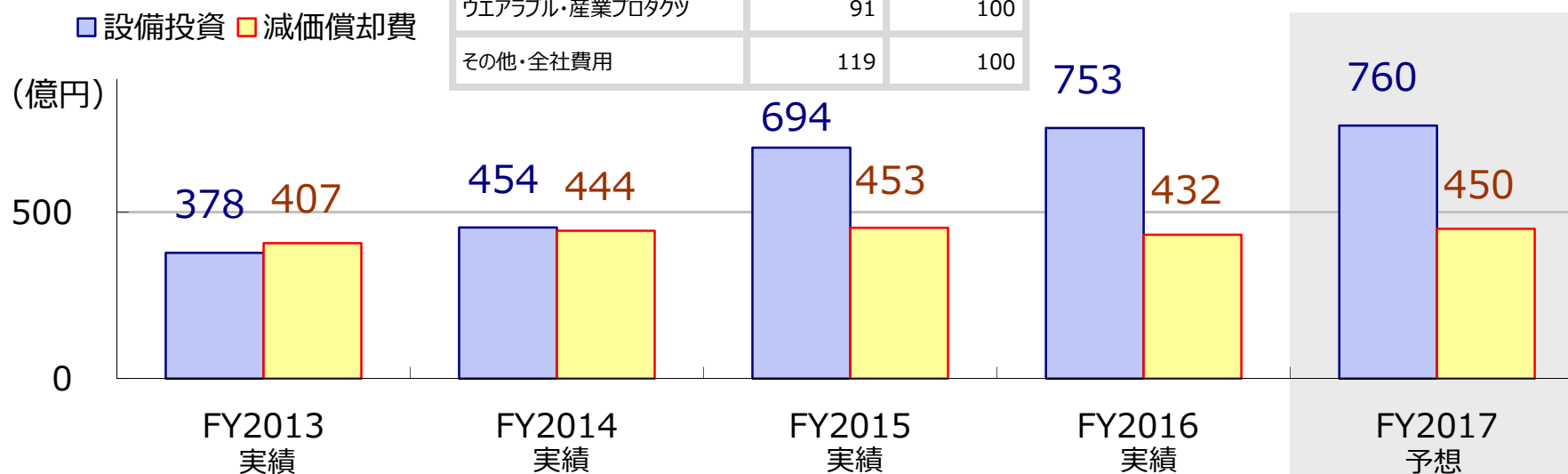


*有利子負債：リース負債を含む

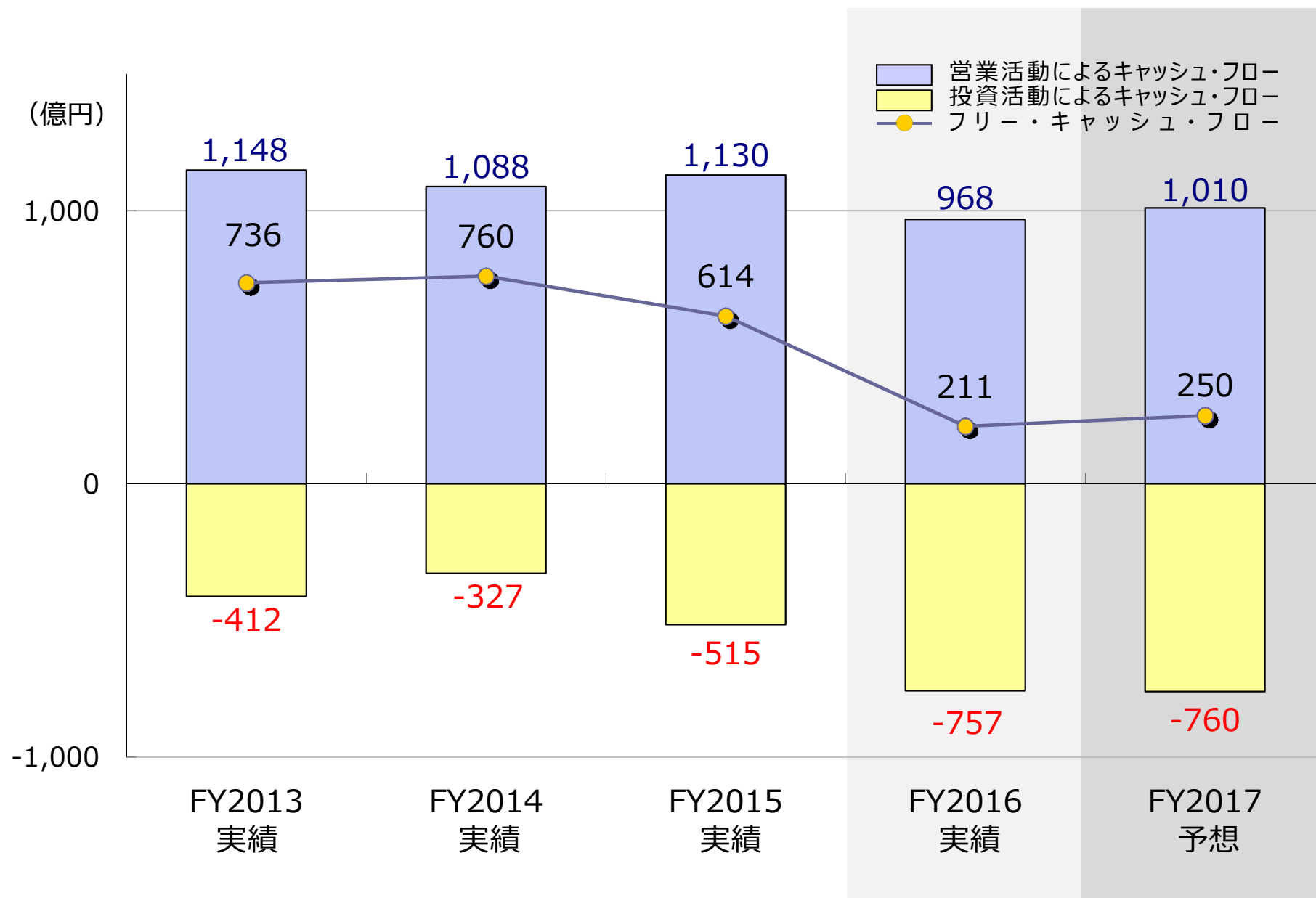
研究開発費/設備投資・減価償却費見通し



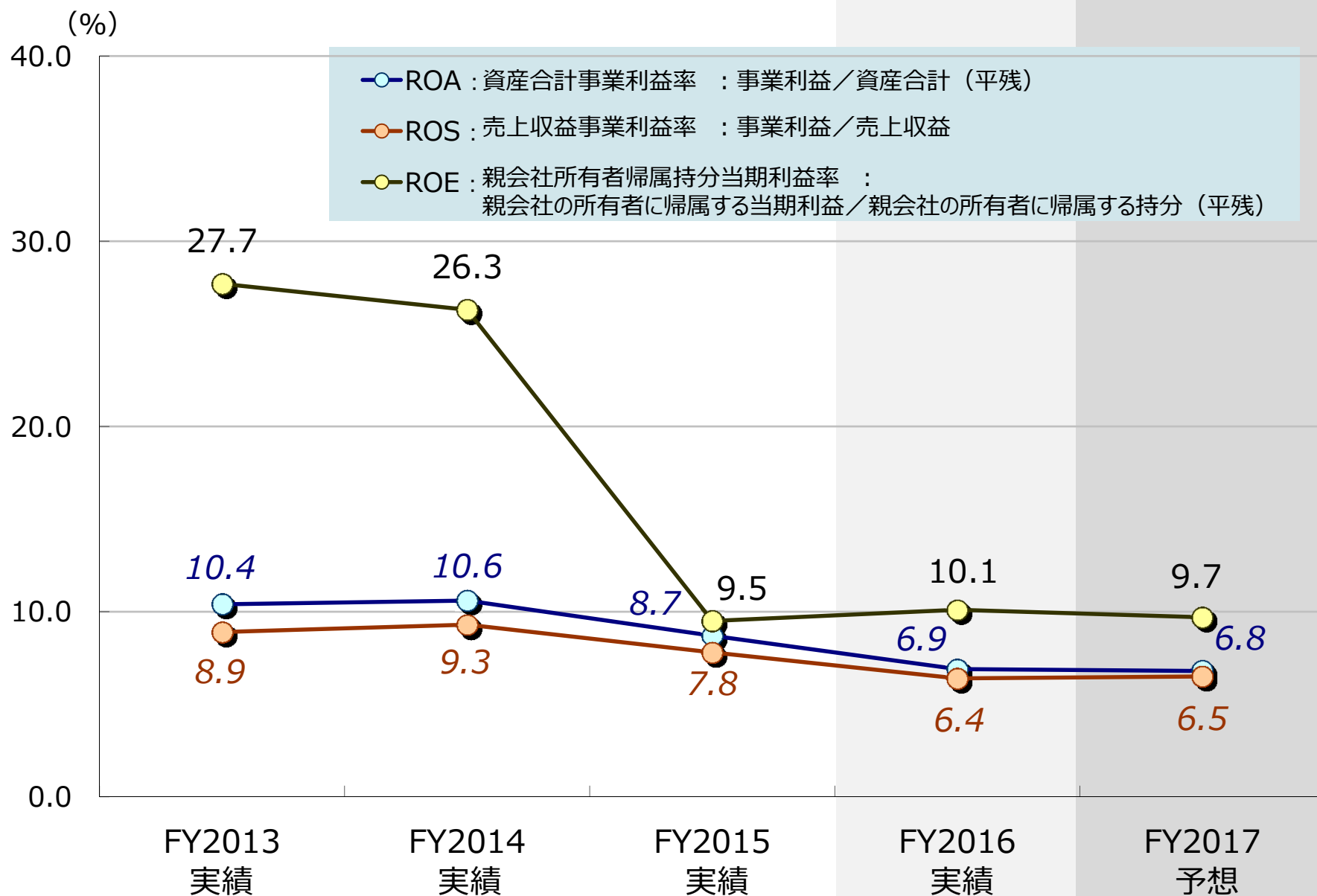
設備投資内訳	FY2016 実績	FY2017 予想
プリンティングソリューションズ	439	430
ビジュアルコミュニケーション	102	130
ウェアラブル・産業プロダクト	91	100
その他・全社費用	119	100



フリー・キャッシュ・フロー見通し



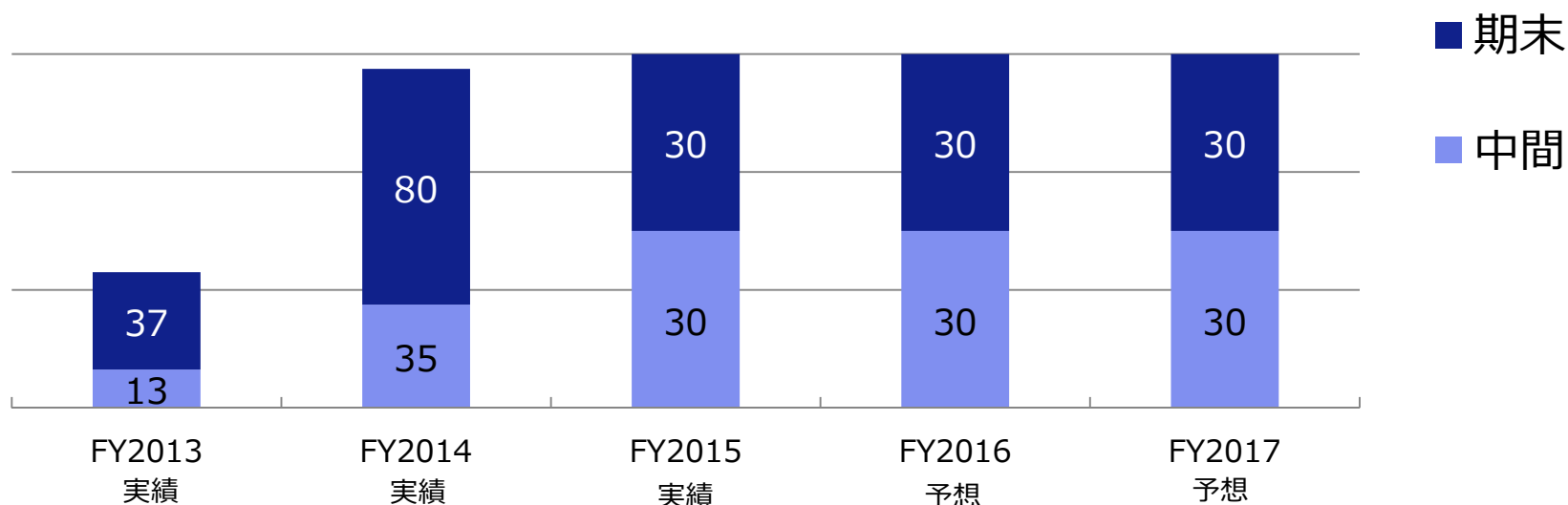
主な経営指標の推移



- 成長戦略に基づく投資を最優先に行ったうえで、経営環境の変化などに耐え得る強固な財務構造の構築と積極的な利益還元に並行して取り組む
- 中期的には連結配当性向^{*1}40%程度を目標としたうえで、株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、必要に応じて機動的に自己株式の取得を行い、より積極的な株主還元を図る

■ 配当実績・予想

1株当たり配当金額の推移（円）^{*2}



*1：当社の本業による利益を示す事業利益（日本基準の営業利益とほぼ同じ概念の利益）から法定実効税率相当額を控除した利益に基づく

*2：当社は2015年4月1日に1:2の株式分割を実施しました。グラフの高さは分割後の水準で表示しています

補足資料

主な業績指標

(億円)

		FY2016 実績	FY2017 予想	FY2018 目標
プリンティング ソリューションズ	売上収益	6,866	6,890	8,050
	事業利益	841	900	-
ビジュアル コミュニケーション	売上収益	1,796	1,820	2,000
	事業利益	161	180	-
ウェアラブル・ 産業プロダクト	売上収益	1,585	1,630	1,950
	事業利益	78	120	-
その他	売上収益	15	10	0
	事業利益	△4	△10	-
全社・調整額	売上収益	△15	△50	0
	事業利益	△417	△520	-
連結合計	売上収益	10,248	10,300	12,000
	事業利益	658	670	960
	ROS	6.4%	6.5%	8%
	ROE	10.1%	9.7%	継続的に 10%以上

(億円)

項目	FY2016 実績	FY2017 予想	Epson 25 第1期累計
営業CF	968	1,010	3,300程度
FCF	211	250	1,200程度

設備投資	753	760	2,100程度
研究開発費	527	540	積極的に投下

為替前提

	FY2016 実績	FY2017 予想	Epson 25 第1期中期
USD	¥108.38	¥105.00	¥115.00
EUR	¥118.79	¥110.00	¥125.00

主要商品の販売動向

■ 実績および予想（前年同期比）

ASP,売上収益は日本円換算後

商品		FY2015 通期(実績)	FY2016 1Q(実績)	FY2016 2Q(実績)	FY2016 3Q(実績)	FY2016 4Q(実績)	FY2016 通期(実績)	FY2017 通期(予想)
IJP 本体	数量	+1%	+8%	+5%	+2%	+7%	+5%	+8%
	数量構成比 オフィス/大容量	約20%/ 約35%	-	-	-	-	約20%/ 約40%	約20%/ 約45%
	ASP	+1桁%台前半	-10%程度	-10%台半ば	-1桁%台前半	+1桁%台前半	-1桁%台後半	+1桁%台前半
	売上収益	+1桁%台前半	-1桁%台前半	-10%台前半	前期並み	+1桁%台後半	-1桁%台前半	+1桁%台後半
IJP インク	数量	0%	-3%	-7%	-2%	-5%	-4%	-
	ASP	+1桁%台半ば	-1桁%台前半	-1桁%台後半	-1桁%台前半	+1桁%台半ば	-1桁%台前半	-
	売上収益	+1桁%台半ば	-1桁%台半ば	-10%台半ば	-1桁%台半ば	-1桁%台前半	-1桁%台半ば	-1桁%台半ば
SIDM 本体	数量	-6%	+19%	+10%	-13%	-1%	+4%	-11%
	ASP	+1桁%台前半	-20%台半ば	-20%台半ば	-10%台半ば	-1桁%台後半	-10%台後半	-1桁%台半ば
	売上収益	-1桁%台前半	-10%程度	-10%台後半	-20%台後半	-1桁%台後半	-10%台半ば	-10%台半ば
プロジェクター	数量	+2%	+9%	+8%	+7%	+2%	+6%	+2%
	ASP	+1桁%台前半	-10%台半ば	-10%台半ば	-1桁%台後半	+1桁%台半ば	-1%台後半	-1桁%台前半
	売上収益	+1桁%台半ば	-1桁%台後半	-1桁%台後半	前期並み	+1桁%台後半	-1桁%台前半	前期並み

本資料は、エプソン内部の管理値に基づく指標です。

EPSON
EXCEED YOUR VISION